

# 日本リメディアル教育学会

## 第13回全国大会・総会 開催のご案内

高大接続改革の実現に向けた具体的な方策である『高大接続システム改革会議「最終報告」』が平成28年3月に公表された。これらの一連の教育改革の方向性は、明治以来の我が国の教育システムを根本から変革するものであり、グローバル化や少子高齢化、地方創生への対応といった先行き不透明なこれからの社会に対応する若者を育成する上で、大変重要なものである。報告では、今後の時代を生きる上で必要となる資質・能力として、「学力の3要素」、すなわち、「①十分な知識・技能」「②それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく能力（「思考力・判断力・表現力」）」「③これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（「主体性・多様性・協働性」）」を明確に捉え直し、それら一体的に育成するためのアクティブラーニングの積極的な導入などにより高校・大学の教育を変え、両者の結節点として、入学者選抜の在り方についても改革を行うことが打ち出された。

センター試験改革が大きな注目を浴びているが、大学進学率が50%を超えるユニバーサル時代が到来した現在の大学教育においては、入試だけに着目することは危険であり、高校・大学における「学力の3要素」をどのように連続的、着実に育成するかが重要である。そのためには高大の接続部分にあたる入学前教育や初年次教育のあり方がますます重要になると言える。

今大会では、高大接続システム改革における「学力の3要素」の定着を意識し、教科学習におけるアクティブラーニングの導入などにより高校教育の現場がどのように変化していくのか、それを受け入れる大学のリメディアル教育や初年次教育はどのように対応していく必要があるのか、先進的な高校現場の取組や高大連携の取組に着目する。ユニバーサル時代にふさわしい高大接続を実現するための高大教職員の連携の可能性を追求する。

日本リメディアル教育学会第13回全国大会実行委員会



## 1. 日程

2017（平成29）年8月21日（月）～23日（水）

## 2. 会場

日本文理大学（〒870-0397 大分県大分市一木 1727） <http://www.nbu.ac.jp/access/index.php>

## 3. 大会テーマ

高大接続システム改革はリメディアル教育を変えるか？

## 4. 主催・後援

主催：日本リメディアル教育学会

後援：日本文理大学、大分県教育委員会、大分高等教育協議会、大分合同新聞社（一部申請中）

## 5. プログラム

○第1日：8月21日（月） 会場：日本文理大学 18号館

10:30-12:30 理事会（18A42教室）

12:30-13:25 編集委員会（18A43教室）

12:30 受付開始（18号館4階エントランス）

13:30-14:55 口頭発表A（3発表×4会場）

15:05-17:00 口頭発表B（4発表×4会場）

17:10- 理事会（予備）（18A42教室）、編集委員会（予備）（18A43教室）

○第2日：8月22日（火） 会場：日本文理大学 18号館

9:00 受付開始（18号館4階エントランス）

9:30-10:55 口頭発表C（3発表×4会場）

11:00-11:30 総会（会員のみ）（18C51教室）

11:30-11:50 開会式（18C51教室）

11:55-13:15 ランチョンセミナー（18A51教室）

13:20-13:30 理事会（新理事）（18A42教室）

13:30-14:50 ポスター発表・デモセッション（18A52教室）

14:55-16:15 基調講演（18C51教室）

「協同教育の視座からのリメディアル教育への願い」

講師：関田 一彦 氏

（創価大学 教育学部 教授、日本協同教育学会理事（前会長）、初年次教育学会理事）

16:20-18:20 大会実行委員会による企画（現地企画）（18C51教室）

「高大接続システム改革への現場の取り組みからリメディアル教育を考える」

コーディネーター・取組報告者：吉村 充功（日本文理大学）

取組報告者：佐藤 茂 氏（大分県立大分豊府高等学校）

太田 恭二 氏（大分県立爽風館高等学校）

賀来 宏基 氏（大分県立日田高等学校）

指定討論者：関田 一彦 氏（創価大学）

18:30-20:00 情報交換会（12号館1階食堂）

○第3日：8月23日（水） 会場：日本文理大学 18号館

9:00 受付開始（18号館4階エントランス）

9:30-10:25 口頭発表D（2発表×4会場）

10:30-12:00 部会企画A（英語(1)、日本語、理数系）（3教室）

12:05-12:25 部会総会（ICT活用教育、教職協働、医療系、東海・北陸支部）（4会場）

12:30-12:50 優秀賞審査委員会（18A43教室）

12:55-14:25 部会企画B（英語(2)、学習支援）、理事会企画（3会場）

14:25-14:45 閉会式（18A41教室）

※ 企業展示は大会期間中を通じて実施します。コアタイムは、ポスター発表・デモセッション（2日目 13:30-14:50）となります（同会場）。

## 6. 参加費等

(1) 大会参加費（情報交換会・プレカンファレンスは別途）

会員／非会員	大会参加費
正会員（個人）・ 大学会員・賛助会員	事前 4,000 円 当日 5,000 円
非会員	事前 5,000 円 当日 5,000 円

(2) 情報交換会参加費

会員／非会員	情報交換会参加費
正会員・大学会員・ 賛助会員・非会員	5,000 円

(3) 企業展示・広告費

会員／非会員	展 示 <sup>※1、※2</sup>	ランチョンセミナー <sup>※2</sup>	発表予稿集への広告 <sup>※3</sup>
賛助会員	30,000 円	30,000 円 (展示を行う場合には 20,000 円)	10,000 円

※1 18号館5階18A52教室を使用。基調講演会場・口頭発表会場（18C51教室）への動線上になります。

※2 利用可能な備品等の詳細に関しましては、別途連絡します。

※3 A4サイズ（白黒、縦置き、片面）1ページの広告料金です。

## 7. 発表方法等

(1) 口頭発表の実施方法

発表会場は4会場で、次の形式で実施する。

口頭発表	必須	1件25分間（発表20分＋質疑5分）
予稿集原稿	必須	前回までの全国大会の様式に準ずる。

○パソコンは各自ご持参ください。

- 発表会場ではVGA端子(アナログRGB)によるプロジェクターへの接続が可能です。VGA端子への変換アダプタが必要なパソコンをご使用の場合は、変換アダプタをご持参ください。
- 書画カメラ、DVD/BDプレイヤー等の使用については事前にヘルプデスクまでご相談下さい。
- 配付資料の持参、および、持参部数は発表者の判断に一任されています。ただし、発表に関係ない資料の配付はご遠慮ください。また、持参された資料の残部はお持ち帰りください。
- 発表するセッションの開始前の休憩時間にパソコンの動作確認を行います。発表するセッションの開始前までに会場にお越しください。

## (2) ポスター・デモ発表の実施方法

次の形式で実施する。ブリーフプレゼンテーションは実施しない。

ポスター展示	必須	所定の会場で展示する。
予稿集原稿	必須	口頭発表と同様
コアタイム	必須	ポスターセッション内にポスター前で説明を行う。

- ポスターパネルは、幅 86cm、高さ 151cm のものを 1 つご用意いたします。
- ポスター展示用のマグネット、テープ等は現地校でも準備しています。
- ポスターの展示は、ポスターセッションの開始までに各自で行って下さい。また、終了後は各自で片付けを行って下さい。
- 配付資料の持参、および、持参部数は発表者の判断に一任されています。ただし、発表に関係ない資料の配付はご遠慮ください。また、持参された資料の残部はお持ち帰りください。



## (3) 展示企業向けデモ発表の実施方法

次の形式で実施する。ブリーフプレゼンテーションは実施しない。

デモ展示	必須	所定の会場で展示する。(企業展示ブース利用)
論文	不要	予稿集には載せない
コアタイム	必須	ポスターセッション内に企業ブース前で説明を行う。

## (4) ランチョンセミナー

2 日目のお昼休みに賛助会員 4 社によるセミナー（参加者は昼食無料）を開催します。

## 8. 大会発表優秀賞の創設

本学会では、全国大会での発表および会誌への投稿の活性化を目的として、大会優秀賞を創設し、その選定規定を以下のとおり定めたことをお知らせいたします。

### 日本リメディアル教育学会 大会優秀賞 選定規定

平成 29 年 6 月 20 日

日本リメディアル教育学会の全国大会では、大会発表優秀賞を設ける。この賞は、大会予稿及び発表を踏まえて、優秀な内容（口頭発表及びポスター発表）に対して授与されるものである。なお、大会発表優秀賞の受賞者には、学会誌への推薦論文として投稿を勧める。本学会は、様々な部会が存在することから、大会発表時の領域毎に選定できるように配慮する。

- 1) 10 件に 1 件の割合で、優秀賞を選定する。端数として、10±3 件に 1 件の範囲内で許容する。優秀賞は、発表者（筆頭著者）とする。

- 2) 大会発表時の領域毎の選定が可能となるように、1)を満たすグループ化を図る。条件を満たさない分類は、他の分領域と合わせ、条件を満たすか、または近い条件になるように調整する。
- 3) 審査に際しては、優秀賞選定委員会を設置する。優秀賞選定委員会（委員長1名及び幹事数名（各部会担当を想定））は、大会企画委員会の下で構成する。
- 4) 委員長及び幹事は、大会企画委員会のプログラム委員会と連携して、発表内容の分野との整合性を考慮して一次審査委員及び座長（二次審査委員候補）を選定する。
- 5) 一次審査委員は、担当の予稿の事前審査を行う。審査は、1) 新規性 2) 有用性 3) 信頼性 4) 了解性（記述の分かりやすさ）を以て審査する。
- 6) 一次審査のうち、上位1／3以上を当日審査（座長による審査）の対象とする。
- 7) 一次審査対象者が発表を行う座長は、発表に関する審査（二次審査）を行う。発表に関する審査も、1) 新規性 2) 有用性 3) 信頼性 4) 了解性（発表の分かりやすさ）の観点で審査する。なお、ポスター発表についても二次審査委員を設定する。
- 8) 大会最終日に、予稿及び発表審査の合計に基づき、最終審査を合議で行い、受賞者の選定を行う。
- 9) 受賞者については、大会日の閉会式で発表する。
- 10) 大会発表優秀賞対象者が希望する場合、推薦論文を期日までに提出できる。推薦論文は、編集委員会の領域毎の論文担当の下、領域を加味した査読者を選定し、各部会の採録の観点を考慮して論文作成のアドバイジングを行う。

## 9. 大会実行委員会からのお願いとお知らせ

### (1) 宿泊について

本大会では、大分市 MICE 開催補助金の交付を申請しています。延べ宿泊者数に応じた補助額となりますので、宿泊される場合はできるだけ「大分市内」の宿泊施設のご利用をお願いします。ホテルは大分駅周辺に多数あります。また、大学最寄りの大在駅前にもビジネスホテル 1 軒あり。なお、大会実行委員会では、宿泊先の斡旋等を行いません。

### (2) 交通手段等について

- 公共交通機関をご利用の場合、最寄り駅はJR日豊本線「大在」（おおざい）駅です。
- 大会期間中は大会プログラムにあわせて大在駅前よりスクールバス（無料）を運行します（所要約 5 分）。スクールバス時刻表は後日お知らせします。
- 大在駅から大学まで歩く場合、約 2km、30 分弱かかります（標高差が若干あります）。
- 車利用の場合、東九州自動車道「大分宮河内 IC」より約 10 分。正門前駐車場に駐車可能です（1回 100 円）。

#### 【参考】

- ・大分空港より大分駅前まで、空港連絡バスエアライナー（ノンストップ）で約 60 分。片道 1,550 円。2 枚券 2,600 円（空港内バス案内カウンター自動券売機で購入）。
- ・JR 大分駅より大在駅まで普通電車で所要約 15 分（4 駅）。1 時間 2～3 本運行。上記区間は交通系 IC カード利用可（SUGOCA、Suica、ICOCA 等）。
- ・大分空港からレンタカー等を使用した場合、大分空港道路・高速道路経由で大学まで約 70 分。

### (3) 会場について

○大会期間中は学食、売店が利用できますが、大学周辺には、飲食店、コンビニはありませんので、ご注意ください。なお、大在駅周辺には飲食店、コンビニがあります。

○学内 LAN の利用はできません。

## 10. プレカンファレンスについて

○日程：2017（平成 29）年 8 月 20 日（日）15 時～21 時

○会場・宿舎：日本文理大学 湯布院研修所（〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上 3366-4）

<http://nbu.co.jp/yufuin/>

○参加費：

会員／非会員	プレカンファレンス参加費	備考
正会員・大学会員・ 賛助会員・非会員	12,000 円	1 泊 2 食。懇親会費・ 入湯税込。

※スケジュール等の詳細は申込者へ直接ご連絡します。

## 11. 委員名簿

○大会実行委員会委員一覧（順不同）

実行委員長：吉村 充功（日本文理大学）

副委員長：鈴木 照夫（日本文理大学）

委員：坂井 美穂（日本文理大学）、前田 和宏（日本文理大学）、  
西野 麻美（日本文理大学）、首藤 マリア（日本文理大学）、  
大津 智（日本文理大学）、嶋田 奈々恵（日本文理大学）、  
古庄 朝美（日本文理大学）、山下 佳亮（日本文理大学）

○大会企画委員会委員一覧（順不同）

会長：寺田 貢（福岡大学）

大会企画委員長：小松川 浩（千歳科学技術大学）

大会企画副委員長：中園 篤典（広島修道大学）

プログラム委員長：佐藤 尚子（千葉大学）

大会実行委員長：吉村 充功（日本文理大学）

幹事 専門部会企画担当：御園 真史（島根大学）

幹事 賛助会員担当：小野田 正之助（近畿大学）

アドバイザー：矢島 彰（東大阪大学）

専門部会担当：森川 修（鳥取大学）

プログラム担当：鈴木 政浩（西武文理大学）

プログラム担当：田島 ますみ（中央学院大学）

プログラム担当：國弘 保明（川崎医療福祉大学）